

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲
ウィリアム・S・コーエン元国防長官の旭日大綬章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日（日本時間）、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でウィリアム・S・コーエン元国防長官が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の安全保障・防衛分野における関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日大綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日大綬章
- ・功績概要： 日本・アメリカ合衆国間の防衛分野における関係強化に寄与
- ・氏名： ウィリアム・S・コーエン (William S. Cohen)
- ・主要経歴： 元 国防長官
現 コーエングループ代表
- ・住所(国籍)：メリーランド州(アメリカ合衆国)

コーエン氏は、1997年から2001年に20代目の国防長官を務めました。国防長官として、日米関係の強化に重要な役割を果たし、1997年の日米防衛協力のための指針の改定において、強力なリーダーシップを発揮しました。また、日米防衛相会談や安全保障協議委員会(いわゆる「2+2」)を含む各種協議を通じて、日米同盟に多大な貢献をしました。

(了)

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲
リチャード・B・チェイニー元副大統領の旭日大綬章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日（日本時間）、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でリチャード・B・チェイニー元副大統領が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の関係強化及び友好親善に寄与した功績が認められ、本年、旭日大綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日大綬章
- ・功績概要： 日本・アメリカ合衆国間の関係強化及び友好親善に寄与
- ・氏名： リチャード・B・チェイニー (Richard B. Cheney)
- ・主要経歴： 元 副大統領
元 国防長官
- ・住所(国籍)：ワイオミング州(アメリカ合衆国)

チェイニー氏は、1989年から1993年に国防長官(ジョージ・H・W・ブッシュ政権)、また2001年から2009年に副大統領(ジョージ・W・ブッシュ政権)を務めました。国防長官として、冷戦終了期の日米同盟の維持・強化に貢献するとともに、副大統領として、グローバルな舞台での日米協力関係を強化、日米間の「蜜月関係」を支援しました。

(了)

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲 デイビッド・ライカート下院議員の旭日重光章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日(日本時間)、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でデイビッド・ライカート下院議員が叙勲されることが公表されました。今回、同議員は長年にわたる日米関係の発展・深化への功績が認められ、旭日重光章を受章することとなりました。

- ・賞賜: 旭日重光章
- ・功績概要: 日本・アメリカ合衆国間の関係強化及び友好親善に寄与
- ・氏名: デイビッド・ライカート(David Reichert)
- ・主要経歴: 現 米日コーカス共同議長
現 連邦下院議員
- ・住所(国籍): ワシントンDC(アメリカ合衆国)

ライカート下院議員は、1970年にコンコーディア大学を卒業後、空軍予備役となる一方、ワシントン州キング群の警察官として勤務しました。長らく米国最大の未解決殺人事件とされていた連続殺人事件(グリーン・リバー・キラー事件)の専門捜査班で活躍して犯人逮捕に貢献した後、1997年にキング群保安官に任命され、地元の治安維持に努めました。

2004年、同議員は、ワシントン州第8区から連邦下院議員選挙に出馬し、初当選を果たして以後、7期連続して当選を重ねています。2008年から重要委員会の1つである歳入委員会に所属し、2015年に同委員会の貿易小委員長に就任し、議会において環太平洋パートナーシップ協定(TPP)等の通商関係の議論を主導するなど、その活躍ぶりは枚挙にいとまがありません。

また、同議員は、2014年の設立当初から、日米関係強化や日米協力の推進等を目的とする米日コーカスに加盟し、2016年3月には同コーカス共同議長に就任しました。共同議長として日米議員間交流に深く貢献するとともに、超党派の米日コーカスの発展に努め、同コーカスが100名を超える規模に拡大したのも同議員の貢献あつてのことです。

ライカート議員が今議会での引退を表明されているのは残念なことですが、米日コーカスの共同議長として、議会における対日理解の増進に貢献してきた同議員の旭日重光章受章により、日米関係が一層発展・深化していくことが期待されます。

(了)

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲
チャールズ・G・シュローティ元在日米軍副司令官の旭日中綬章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日（日本時間）、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でチャールズ・G・シュローティ元在日米軍副司令官が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の防衛関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日中綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日中綬章
- ・功績概要： 日本・アメリカ合衆国間の防衛関係強化に寄与
- ・氏名： チャールズ・G・シュローティ(Charles G Chiarotti)
- ・主要経歴： 元 在日米軍副司令官
現 米海兵隊総司令部施設及び兵站担当副総司令官
- ・住所(国籍)：ワシントンDC(アメリカ合衆国)

シュローティ氏は、2016年から2018年に在日米軍副司令官を務めました。在日米軍副司令官として、日米同盟の重要性を深く理解し、同盟関係の緊密化のために強力なリーダーシップを発揮する等、日米関係強化に貢献しました。

(了)

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲
クリストファー・M・E・ペインター元国務省サイバー問題調整官の旭日中綬章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日（日本時間）、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でクリストファー・M・E・ペインター元国務省サイバー問題調整官が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間のサイバーセキュリティに関する協力関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日中綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日中綬章
- ・功績概要： 日本・アメリカ合衆国間のサイバーセキュリティに関する協力関係強化に寄与
- ・氏名： クリストファー・M・E・ペインター (Christopher M.E. Painter)
- ・主要経歴： 元 国務省サイバー問題調整官
現 サイバー空間の安定に関する国際委員会 (Global Commission on the Stability of Cyberspace) 委員
- ・住所(国籍) : ワシントンDC (アメリカ合衆国)

ペインター氏は、2011年から2017年に国務省サイバー問題調整官を務めました。サイバー問題調整官として、サイバー問題への対応について国際的な連携の推進にリーダーシップを発揮するとともに、日米間のサイバーセキュリティに関する協力推進に貢献しました。

(了)

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲
ロバート・M・オア一元全米日米協会連合副理事長の旭日小綬章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日（日本時間）、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でロバート・M・オア一元日米協会連合副理事長が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の関係強化及び友好親善に寄与した功績が認められ、本年、旭日小綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日小綬章
- ・功績概要： 日米間の関係強化及び友好親善に寄与
- ・氏名： ロバート・M・オア（Robert M. Orr）
- ・主要経歴： 元 全米日米協会連合副理事長
- ・住所(国籍)：フロリダ州(アメリカ合衆国)

オア氏は、2004年から2008年まで北米各地の日米協会・日本協会を束ねる全米日米協会連合(NAJAS)の副理事を務め、日米草の根交流・対日理解促進を推し進めました。日米関係の重要性を深く理解し、日米関係の緊密化・相互理解の促進に多大な貢献をしました。

(了)

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲
カール・J・グリーン元ワシントン日米協会会長の旭日小綬章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日（日本時間）、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でカール・J・グリーン元ワシントン日米協会会長が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の関係強化及び友好親善に寄与した功績が認められ、本年、旭日小綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日小綬章
- ・功績概要： 日米間の関係強化及び友好親善に寄与
- ・氏名： カール・J・グリーン（Carl J. Green）
- ・主要経歴： 元 ワシントン日米協会会長
元 フォード財団日本事務所長
元 日立ワシントン事務所上級代表
- ・住所(国籍)：メキシコ グアナフアト州(アメリカ合衆国)

グリーン氏はワシントン DC 日米協会の理事長を務め、日米間の親善、米国における対日理解の促進に多大な貢献をしました。また、フォード財団日本事務所長、日立ワシントン事務所上級代表などを歴任し、長年に亘り、ビジネスから草の根・知的交流まで、日米両国間の多層的な関係緊密化に顕著な役割を果たしてきました。

(了)

Press Release

平成30年秋の外国人叙勲
ケビン・デビッド・クローレイ元全米科学アカデミー
原子力・放射線研究会上級事務局長の旭日小綬章受章

2018年11月3日
在米国日本国大使館

2018年11月3日(日本時間)、日本政府は、平成30年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でケビン・デビッド・クローレイ元全米科学アカデミー原子力・放射線研究会上級事務局長が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の原子力分野における関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日小綬章を受章することとなりました。

- ・賞 賜: 旭日小綬章
- ・功績概要: 日米間の原子力分野における関係強化に寄与
- ・氏 名: ケビン・デビッド・クローレイ(Kevin David Crowley)
- ・主要経歴: 元 全米科学アカデミー原子力・放射線研究会上級事務局長
現 全米科学アカデミー原子力・放射線研究会アドバイザー
- ・住所(国籍): バージニア州フォールズチャーチ(アメリカ合衆国)

クローレイ氏は、全米科学アカデミー原子力・放射線研究会上級事務局長として、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故を踏まえ、米連邦議会の要請に基づき実施された、福島事故の教訓に関する調査の責任者を務め、米有識者で構成される調査委員会を組織し、「福島事故からの教訓に関する調査研究報告書」をとりまとめました。同報告書により、福島第一原発の状況について詳細で科学的な情報が発信されることで、関係者の理解向上や、日本をはじめとする世界各国の原子力安全及び核セキュリティの向上に貢献されました。

また、同氏は、長年にわたり、日米政府の支援により設立された公益財団法人放射線影響研究所の活動を科学的な観点から助言を行い、日本における放射線の影響の理解向上に大きく貢献するとともに、原子力と社会の関わりに関する講演活動等により原子力分野での日米間の相互理解の促進に大きく寄与されました。

(了)